

科目番号	BB102				
科目名	樹木学 実習				
担当教員	山田裕司 (日本樹木医会兵庫県支部)ほか				
科目区分	森林生態学	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年		授業形態	実習	
開講時期	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	単位数
授業時間数	15		コマ (30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目	○	左の実務経験の内容	樹木医		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容	—		
実務経験を活かした授業内容	樹木医の知識と経験をもとに、樹木観察を通じて樹種の特徴を学ぶ。				

目的	樹木学(講義・演習)で学習した樹木の分布や形態について、視察や実習により理解を深める。				
概要	野外での樹木の観察、採取、標本作製、調査				
キーワード	①樹木観察と採取・標本の作製(温帯域) ②氷ノ山の植物観察(低山帯、亜高山帯) ③国有林の見学 ④近隣の巨樹・巨木				
関連する科目	森林保護学、樹木医学				
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得			
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得			
		多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得			
評価方法	試験60%、提出物40%				

授業計画	テーマ	講義内容
1~4	近隣の巨樹、巨木	・神社の鎮守の森など、人々の生活と樹木のかかわりを学ぶ
5~8	温帯域の樹木について	・国見の森公園で樹木観察と採取、標本の作製
9~12	氷ノ山の植物観察	・氷ノ山を登山しながら樹木を観察し、植物の垂直分布等について理解を深める
13~14	国有林の見学	・奥地林として原生植生に近い植物群落が残る国有林の樹木を観察し、二次林や人工林との相違を確認する。
15	試験	

テキスト	新学生版「牧野日本植物図鑑」－北隆館 野外観察ハンドブック 写真で見る植物用語－全国農村教育協会
参考書	樹木類の解説書
関連する資格	樹木医補、森林情報士2級
備考	